

大仏づくりと人々の願い

7世紀から8世紀にかけて、政治のしくみが整っていくなか、この時代を生き
た人々はどのような思いや願いをもって暮らしていたのでしょうか。当時の社会
の様子や、人々の思い、願いを読み取ってみましょう。

ア 防人のうた(要約)

父母が わたしの頭をなでて
無事であれ と言った言葉が 忘れられない

わたしの妻は わたしのことを
とても恋しがっているようだ
飲む水に 妻の影まで映って 忘れられない

イ 貧窮問答歌(一部の要約)

父母はまくらの方に、妻と子は足の方に、私を囲むよ
うにして悲しんだりうめいたりしている。
かまどには火の気もなく、米をにる器にはくもの巣が
はって飯をたくことも忘れてしまったようだ。
かぼそい声を出していると、「短いものはしを切る」
とでも言うようにむちをもった里長(※)の声が寝床にま
で聞こえる。※ 税を取り立てる役人

うたによまれた人々の暮らしと願い

日本で最も古い歌集である『万葉集』には、8 世紀
ごろの一般の人々の生活の様子を伝える作品が収め
られています。

資料アは「防人のうた」です。防人は、3年交代で九
州北部の守りにあたった兵士のことです。主に東日
本の人々から集められました。防人がどのような思い
でうたをよんだのか、想像してみましょう。

資料イは「貧窮問答歌」の一部で、役人として農民
から税を取り立てる仕事をしていた山上憶良が、農
民の貧しさについて伝えたいうたです。うたから農民の
生活や思いを読み取ってみましょう。

大仏づくりと人々の願い

東大寺の大仏は、金や銅を使ってつくられた大仏として
は、世界最大級といわれています。資料ウは、工事の規模
の大きさを表したものです。

聖武天皇の時代には、年表エのようにさまざまな災害が起
こりました。聖武天皇は仏教の力をかりて人々の不安をしず
めようと考え、大仏づくりを進めたのです。

材料	重さ(量)
銅	499トン
すず	8.5トン
水銀	2.5トン
金	440kg
炭	1194m
工事に参加した人	約260万人

←ウ 大仏づくり
の工事の大きさ

724 年	聖武天皇が即位する
734 年	近畿地方で大地震が起こる
735 年	伝染病が大流行する
737 年	干ばつやききんが起こり、 伝染病が大流行する
741 年	全国に国分寺を建てる命令を 出す
742 年	近畿地方で風水害が起こる
743 年	大仏をつくるよう命令を出す
745 年	美濃(岐阜県)を中心に大地震 が起こる
747 年	ききんが起こる
752 年	大仏が完成し、開眼式を行う
753 年	鑑真が日本に来る

↑エ 聖武天皇在位中の自然災害と感染症